

第251回

荒川の人

生まれ育った日暮里の街はパワースポット!
家族の笑顔が原動力にお笑いの道を突き進む。

お笑い芸人 **くまだまさし**さん

【プロフィール】1973年生まれ。荒川区立第八中学校（現在は統廃合により諏訪台中に改称）卒業。15歳まで東日暮里六丁目まで過ごす。関東第一高校卒業後、お笑い芸人を志し吉本総合芸能学院（NSC）東京校に入学。ピン芸人としてフジテレビ『爆笑レッドカーペット』などこれまで多数のパラエティ番組に出演。手作りの小道具を使ったネタは年代や国籍を越えて多くの人に支持され、一躍お茶の間の人気者となる。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。



長袖の上からランニングを着こみ、太ももがあらわになったブルマ姿にお風呂用ブーツという一度見たら忘れないコスチュームがお笑い芸人・くまだまさしさんにとっての勝負服。舞台では一回一回が真剣勝負だと力説するくまださん。ステージに登場するや、お客さんを巻き込んだハイテンションなパフォーマンスの連続に劇場内はたちまち笑いの渦に!「ルミネtheよしもと」で大爆笑をかっさらったばかりのくまださんにお話をうかがいました。

日暮里の街で培われたセンスを開花 母の反対を押し切りお笑いの道へ

「六畳一間の小さなアパートに家族6人と母が銭湯の帰りに拾ってきた猫が3匹。近所からは『日暮里のムツゴロウさん』なんて呼ばれていて、ちょっと変わった家族に思われていたかもしれません。ある日、近所でボヤ騒ぎがあって、猫たちを外に避難させたんです。ボヤが収まって数えてみると、なぜか40匹に増えちゃってましたね〜(笑)」
幼少期に過ごした東日暮里六丁目での懐かしくもちょっぴり愉快的な生活。両親と3人のお姉さんに囲まれて、くまださんはすくすくと育ちます。寡黙だったお父さんとは対照的にお母さんは明るい性格でダジャレ好き。そんなお母さんの性格を色濃く受け継ぎ、『ひょうきんくまちゃん』はクラスの人気者だったそうです。中学校では先生の勧めもあり、レスリング部に入部。スポーツ推薦で入学した関東第一高校では都のチャンピオンにも輝きました。お笑い芸人を本格的にめざそうと考え始めたのは20歳を過ぎてから。友人たちとの飲み会の席で人を笑わせる快感に目覚め、お笑い芸人の養成所・吉本総合芸能学院（NSC）に入学します。お笑いで天下を取ろうと多くのライバルがひしめく中、入学当初から持ち前の実力をいかに発揮。当時、養成所の同期生だったMr.都市伝説関暁夫さんとは限られた生徒だけが学べる選抜コースでのしぎを削っていたそうです。もっと堅実な道を行ってほしいと、楽しいことが大好きなお母さんもさすがにお笑い芸人になることには大反対。それでも『ひょうきんくまちゃん』は芸人・くまだまさしとしてお笑いの道を歩み始めるのでした。

すべては家族の笑顔のため まさしくまだのすべらない話

くまださんがお風呂用ブーツを履いているのは、お笑い芸人になることを大反対していたお母さんのアドバイスによるもの。「すべらないように」というゲン担ぎの効果も手伝ってか、本人いわく20年以上にわたるキャリアの中でお客さんにウケなかった経験はほぼゼロ。そんなくまださんにとって奥様と10歳の娘さんの存在こそが生きるすべて。

「お客さんを笑顔にすることも大事だけど、家族を笑顔にすることも僕には何より大事なことです。幼い頃自分たちを笑わせてくれた母親の姿が理想の家族のありかたのようなものを教えてくれていたんだと思います」

何事も家族第一主義。朝は7時に起きて家族と朝食を食べて、仕事を終えたら芸人仲間とお酒を飲みに行くこともなく、すぐに帰宅。夜10時には娘さんと一緒にお気に入りのベッドで寝るのが日課です。ネタで使用する小道具はご夫婦と一緒に考えながら創作していて、時には生地を探しに日暮里の繊維街へ足を運ぶことも。芸事に関する悩みよりも、近頃娘さんが『まさし』よりも『嵐』に夢中なのが気がかりだそうで、先輩でもある中川家のお二人に悩みを相談したところ「そんなの悩みのうちにならへん!」と言われてしまったとか。



小道具が入った箱。2歳の頃の娘さんの写真が貼ってあり、ネタの直前に触れ、パワーをもらう。

松本人志さんや今田耕司さんなど名だたる先輩芸人からも一目置かれるくまださんですが、芸人として軌道に乗るまでは家族を養うためにアルバイトに勤しむ毎日でした。

「とにかく生きていくために必死だったので先輩のお誘いも断って、お笑いの仕事が終わったらバイトに直行。芸人8年目までほぼ毎日トラックでゴマの配達をしていました。東京のゴマはすべて僕が運んだゴマだと思います!」

お笑いのセンスだけでなく、世間一般が抱く芸人さんのイメージとは真逆な生き方がかえって笑いの神様の目に留まったのかもしれない。

あふれんばかりのあらかわ愛 いつか諏方神社に錦を飾りたい

友達とよく遊んだ日暮里南公園、サンパール荒川にあった精養軒で食べたオムライス、お母さんと買い物に行ったイトーヨーカドーの駐輪場にあったおでんの屋台など…タイムマシンがあったらあの六畳一間のアパートに住んでいた頃に戻りたいと語るくまださんの脳裏に懐かしい記憶が次々とよみがえります。そんな数ある荒川区での思い出の中でも特に思い入れがあるスポットが西日暮里の高台にある諏方神社。

「芸人になったばかりの20代の頃、諏方神社の近くに部屋を借りていて、夜になると境内でネタの練習をしていました。いつか諏方神社のお祭りでネタが披露できればうれしいですね。区内のお祭りやイベントにもぜひ呼んでください!すぐに駆け付けます!」

劇場やテレビ出演のほか、イベントや学園祭などに招かれてネタを披露する「営業」で全国を飛び回る毎日ですが、よしもとクリエイティブ・エージェンシーに在籍している約7,000人の中で最も多くの営業のオフアがある芸人が何を隠そう、くまださん、その人なのです。

思い出の地に錦を飾るその日を心待ちにして、2018年もくまだまさしさんはステージに立ち、観客を爆笑に…ではなく、大爆笑にいざないます!



お母さん発案の「すべらない」お風呂用ブーツを履いてステージへ。

「まちに新鮮力!」

荒川支店 TEL.03(3895)3011 東尾久支店 TEL.03(3895)2222
西尾久支店 TEL.03(3810)0111 荒川南支店 TEL.03(3807)8711

朝日地元応援団

街の鼓動に敏感です
朝日信用金庫

木曾路 木曾路 木曾路

お昼の新年会

かにフェア 期間:1月16日~2月18日まで

ご予約承っております。良い日のお席はお早めにご予約くださいませ。

花水木 はなみずき 3,000円 (税込3,240円)

かに味噌甲羅焼き 1,500円 (税込1,620円)

かにサラダ 800円 (税込864円)

ずわい蟹天婦羅 800円 (税込864円)

かに酢 600円 (税込648円)

新年会ご予約承ります。 ※無料送迎バスをご用意いたします。 ※ご予算ご相談ください。

木曾路南千住店 荒川区南千住 5-6-15 電話:03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

- 2,160円以上の料理をご注文に限ります。
- グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前にお楽しみください。
- H30年2月18日まで有効
- 木曾路南千住店のみ有効